

資産価値を高める
リフォーム・メンテナンス

2年間を振り返る



2012年9月に行われた沖縄での21回全国大会。全国の青年部員約1000人の前で山口次期部長(当時)のお披露目が行われた



2012年の臨時総会で次期部長選挙が行われ、山口敦史副部長(当時)が当選した。当選直後に横山部長(当時)と握手



「山口体制」の船出となった昨年度の定時総会。「異業種コラボ事業」「旅館アカデミー」など10の委員会を設けた



今年6月の全旅連全国大会で青年部の45周年記念式典も実施。歴代青年部長の多くが顔をそろえた

全国大会記念対談



握手する山口(左)、桑田両氏

青年部の共創力で未来を拓こう

(3面から続く)

——三つめはインバウンドへの取り組み。

桑田 旅館というのは日本文化を体験できる施設だ。日本がインバウンド3千万人を目標とするというが、いかに政府が誘致活動を行っても日本に来る理由というものがはっきりしなければ厳しいのではないかと、う考え方があるし、私もそう思う。

旅館への宿泊が日本へ来る理由になる。1泊も旅館に泊まらないで、日本の何を体験してきたんだ」と言われるぐらいのアピールが必要だ。

1泊2食スタイルで、日本文化が凝縮された旅館というものを、世界に広めていかなければならない。まだまだ全然認識されていないので、それをしっかり進めていきたい。

——今期も積極的に海外に進出している。

桑田 台湾のITF、香港のITB、ドイツのITB、そして先日フランスで開かれたジャパンエキスポと、積極的に動いている。はじめは視察に行くという感じだったのだが、最近は旅館というものをしっかりアピールできている。

今、観光庁・国土交通政策研究所、三菱総研、旅館フランドの検討会を行っている。われわれだけで海外に行くのはお金もかかるので、そういうことで連携を取りながら、旅

館フランドというものをうまく宣伝できればと思っている。

——4番目の組織力の強化。

桑田 先ほども話をしたが、風通しの良い組織にしたい。部員の皆さんから貴重な会費をお預かりするので、しつかり事業をしているのだということを、皆に認識してもらわなければならない。

——部員の拡充は。

桑田 もちろん重要だ。各県の

ユニケーションを取るのには手ではなかったのという状況になったのだが、みんながなかなかそうはいかないと思う。

桑田 そういった何もわからない人達に向けてカリキュラムを作り勉強してもらおう。旅館に戻ったとありえず青年部に入ろう、と思ってもらえるようにしなければ。部員の拡大にもつながるのではないかと期待している。

度の色というものを示してほしい。先ほど桑田君も指摘したが、皆の意見を吸い上げることが大事だ。同時に、自分も絶対これ成し遂げるんだというある程度の強引さが必要で、この両方を兼ね備えることがリーダーの条件だと思う。

自信を持って取り組んでほしい。業界の発展のために、間違いないフラスコになると期待している。

桑田 ありがとうございます。今回は青年部員として来ることによって、今までとは違うものを発見したり、新たなつながりができたりするかもしれない。私の期で「維新伝心」というスローガンを掲げたが、京都という地は「維新」と「伝心」、古いものと新しいものが共存する土地だ。今期の大会の開催地としてさわいと思う。部員一人ひとりに来てよかった

「風通しの良い組織」つくる 耐震問題、流通課題の解決へ

青年部で取り組むことだと思うが、ぜひ、お願いしたい。

——基本方針の最後は未来を担う若手経営者の育成。

桑田 自分もそうだったのだが、旅館に戻ってきたという人が多い。それを何も知らないという人が多く、いろんな情報が入ってきた。知りたいことがあれば、先輩に電話をすればすぐに教えてくれた。自分は人とコミ

——桑田さんの方針を聞いた部長の感想は。

山口 頼もしい限りで、大いに期待している。

青年部には先輩方が築き上げてきた歴史がある。それを守らなければならぬ部分もあるが、変えなければならぬ部分もある。社会が求めているものを敏感に察知して、変えるべきものは変える。守ることも変えることも両方をやらねばならないと思う。桑田雅之の色27年度・28年

——全国大会が京都で10月8日に開かれる。全国の青年部員に向けて一言。

山口 全国大会では集まった皆さんに、最初に「お帰りなさい」と言おうと思っている。なぜかという、今回の大会のサブタイトルは「みんなが主役 自営業全国大会『大人の修学旅行』」。京都には修学旅行などで、誰もが度は来たことがあるはずだ。

——とされること、全ての部員に光が当たることを目指している。

桑田 全国大会は2年に一度のイベントだが、自分がいつも思うのは、あの場所は部員みんなが開放される場所。気を休められる、楽しめる場所だということ。

ぜひ、楽しみに来てほしい。得られるものが絶対あるはずだ。

お客様の満足度を向上させる

『分煙』環境づくりを考えてみませんか？

JTでは、旅館・ホテル業や飲食業を営む皆様が分煙環境を整備する際、その方法についてアドバイス等をさせていただく『分煙コンサルティング活動』を無償で行っています。



分煙環境に関するご相談件数は、2004年の活動開始以降、毎年300～500件にのぼります。ご相談いただく内容は様々で、具体的なコンサルティングのご相談も含め、多岐にわたります。

ホテル・旅館において分煙環境の整備を行った事例



ロビーに分煙機のみを設置していましたが、吸わない方への配慮から煙が漏れないように個室化。室内にはベンチも設置しました。



会議室利用者の快適性向上のため、同フロアに喫煙室を設置。外に煙が漏れないよう、十分な排気風量と適切な給気口を設置しました。

TOPIC

飲食店舗においては、店内の喫煙環境を事前にお知らせする店頭表示も有効です。事前に店内の喫煙環境をお知らせすることは、いまずぐに行える分煙の取り組みです。お店の入口にステッカーを貼るだけで、費用をかけることなく手軽に取り組むことができます。

簡単につくれる「店頭表示ステッカー」

喫煙環境を告知・表示する「店頭表示ステッカー」を、下記WEBサイトで簡単に作成することができます。表示に従うだけでオリジナルのステッカーが完成します。ぜひご利用ください。
※一部地域では、店頭表示の様式が条例等により定められています。その場合には定められた様式に従って下さい。
「分煙.com」のWEBサイトはこちら >>> <http://www.bun-en.com/>

<WEBサイトでのオリジナルステッカー作成例>



分煙したいが、どんな設備を導入したらいいかわからない

分煙することでどんなメリットがあるの？

喫煙スペースからの煙やニオイの漏れを防止する方法はあるの？

たばこに関する法律や自治体条例等の動向を知りたい

その他、JTではたばこに関する様々な質問・ご相談をお受けしておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

【分煙に関するご相談・お問い合わせはこちら】日本たばこ産業株式会社 お客様相談センター 電話 03-5572-3336 WEB <http://www.jti.co.jp/sstyle/manners/bunen/index.html>

ひとときを、
思う。JT

「維新伝心」山口体制



日本学生観光連盟とのコラボ事業も実施。学生に旅館での就労体験をしてもらう「若旦那・若女将密着体験プロジェクト」を行った



「ホテル・レストランショー」会場では異業種とのコラボをテーマにしたディスカッションも



「国際ホテル・レストランショー」会場で県部長サミットを実施。経営改善をテーマにした寸劇を上演した



フランス・パリのジャパンエキスポに参加。着物姿で「旅館ブランド」を宣伝した。今期は積極的に海外進出した



総会後の懇親会には自民党親議連の細田会長も出席。青年部は政治とのかかわりを通して業界の問題解決に努めている



総会で来年2月18日に行う「第2回旅館甲子園」をPR。山口体制の事業は来春まで続く



今年9月11日の臨時総会で桑田次期部長を承認。来年春の総会の議決を経て、正式に就任する

全旅連青年部全国大会特集



ソニー生命保険株式会社

本社:〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル東館

一生涯のパートナーとして。
信頼にふさわしい、品質を誇りたい。

ともに生きるということ
LIFEPLANNER VALUE.
ライフプランナーバリュー

～全旅連青年部全国大会in京都開催おめでとうございます～

生命保険に新しい風
PROFILE
ソニー生命

ソニー生命は、1979年に「きょうから生命保険が変わる。ライフプランナーが変わる。」の言葉を掲げ、誕生しました。「ひとのやらないことに挑戦し社会に貢献する」このソニー・スピリットをもって、かつてない新しいスタイルで、日本の生命保険業界に新風を吹き込んだのです。ライフプランナーのコンサルティングによるオーダーメイドの生命保険という革新的なシステムと質の高いサービスは、多くのお客さまのご支持をいただき、開業以来現在まで順調に成長を続けています。ソニー生命はこれからも、革新の心と顧客第一主義の理念をもって前進してまいります。

全旅連 ソニー生命ライフプランナー会会員

統括責任者
東京中央ライフプランナーセンター第3支社
トップ・オブ・ザ・エグゼクティブ ライフプランナー

中野 秀嗣

ソニー生命保険株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
東京サンケイビル31F
Tel 03-4334-5203 Fax 03-4334-5213
直通 03-4334-5346 携帯電話 090-3317-7338
E-mail: HIDE TSUGU_NAKANO@sonylife.co.jp

